

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

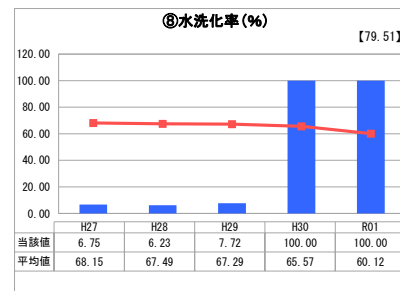
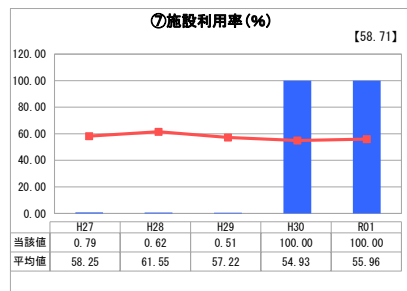
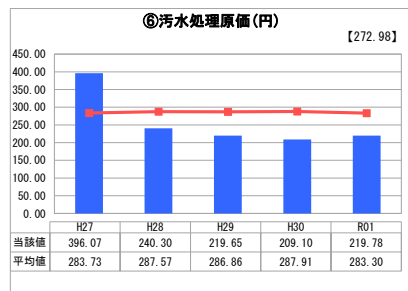
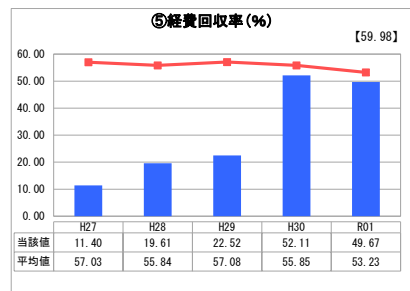
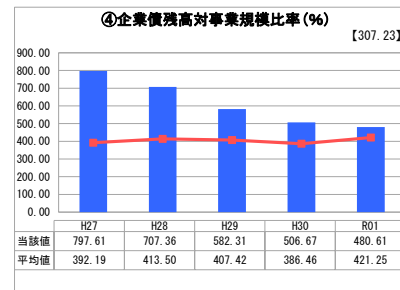
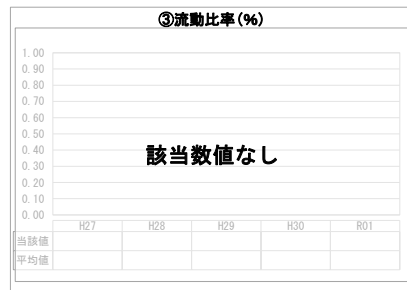
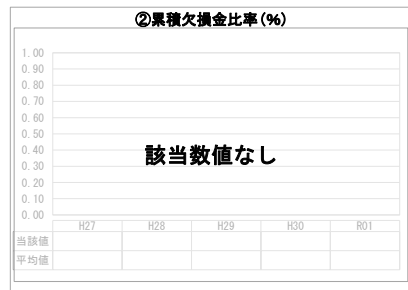
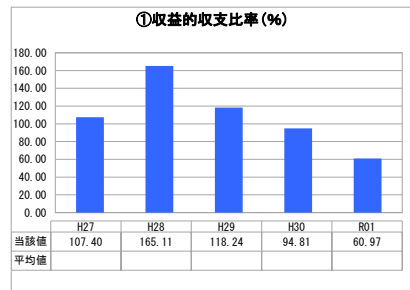
埼玉県 皆野・長瀬下水道組合

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	3.42	100.00	2,090

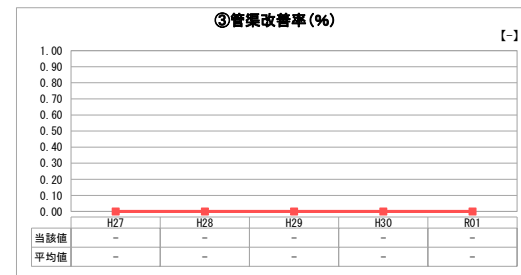
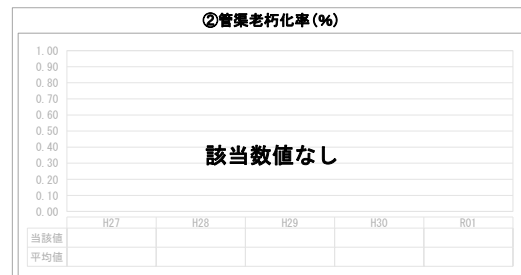
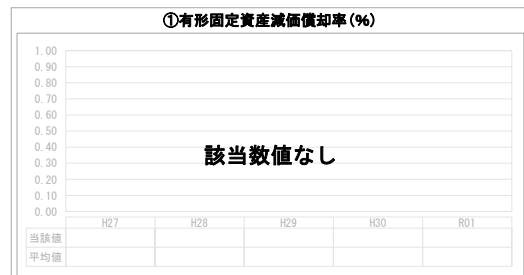
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
-	-	-
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
566	89.18	6.35

■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は数値が年々減少してきており、平成30年度・令和元年度は100を下回る状況になっています。これは、浄化槽設置基数が伸び悩んだため使用料収入が見込みほど増えなかった事の表れだと思います。

組合の事業計画では年間30基の設置を見込んでいますが、この2年間は満たない状況でした。基数の増加は使用料収入の増に関わってくるため、今後も推進活動に力を入れていきます。

企業債残高対事業規模比率は類似団体平均値よりもやや高く、使用料収入等では採算がとれず起債収入に頼っている状況が読み取れます。

事業開始間もない頃は設置費用がかかって料金収入が遅れて入ってくるため数値が高かったが、ここ数年で落ち着きを取り戻しています。少しずつではあるが減少してきており、類似団体平均値に近づいているので、今後もこうした数値になるように経営努力を重ねていきます。

経費回収率は事業開始当初に比べれば使用料収入が増えてきているため改善されつつあります。しかしながら、類似団体平均値を下回っている状況ではあるので更なる改善が必要です。収益的収支比率の改善策と同様に、今後もより多く利用して頂ける事で改善傾向に向かうため普及促進活動にも力をつけていきたい。

### 2. 老朽化の状況について

該当なし

### 全体総括

当組合では、平成25年度より市町村整備型浄化槽事業が開始されました。

事業が少しずつ認知されてきてはいますが、設置数がまだまだ少ない状態にあります。

しかし、組合が行っている他の事業（特定環境保全公共下水道事業）が平成28年度末に認可区域の見直しを行い、区域を拡大しないことを決めたため、浄化槽の対象戸数の増加が見込まれる事となりました。

地域の環境保全の為に設置件数を1件でも多く合併浄化槽の設置していただけるように職員全員で普及活動と取り組んでいくつもりです。

今後の事業展望については今年度に経営戦略の策定を予定しており、収支のバランスのとれた事業投資を行っていく予定です。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。